

あきた未来総合戦略における基本目標ごとの進捗状況について

基本目標 1 産業振興による仕事づくり

(1)数値目標及びその達成状況

数 値 目 標	現状値(H26)	目標値(H30)	実績(H30)	達成率(%)
雇用創出数 平成31年度までに (5か年分の累計) 12,630人	2,175	H29 2,635	H29 2,187	H29 83.0

(2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
15	18	12

(3)推進状況

- 地域産業の競争力強化については、航空機産業や自動車産業の製造品出荷額や風力発電の導入量等は、目標には達していないものの、増加傾向が続いている。企業立地等の促進については、ターゲットを絞った誘致活動・誘致後のフォローアップにより、誘致件数が好調に推移している。
- 農林水産業分野については、主な園芸品目の販売額が、春先の低温や7月の高温少雨の影響等で目標には達しなかったものの、園芸メガ団地の整備や県オリジナル品種の生産拡大等により、前年より約10億円増加した。
- 観光分野については、延べ宿泊者数は目標に達しなかったものの、国内外で人気の高い秋田犬を活用した「秋の大型観光キャンペーン」など、プロモーションを集中的に展開した結果、前年より増加し、平成26年以来の350万人泊超えとなった。海外からの誘客促進については、全国的なトレンドや重点市場への集中プロモーションの結果、外国人延べ宿泊者数が前年より増加し、目標を達成した。

基本目標 2 移住・定住対策

(1)数値目標及びその達成状況

数 値 目 標	現状値(H26)	目標値(H30)	実績(H30)	達成率(%)
Aターン就職者数 平成31年度に 1,700人	1,061	1,700	1,134	66.7
本県への移住者数 平成31年度に 330人	20	320	459	143.4

(2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
8	8	1

(3)推進状況

- Aターン就職者数については、目標を下回っているものの、全国的に人材獲得競争が激化している中、Aターンフェアの開催回数・出展企業数の拡大など、Aターン希望者と県内企業のマッチング機会提供の強化に努めたこと等により、前年度を上回る実績となった。
- 本県への移住者数については、首都圏窓口におけるきめ細かな相談・支援対応や、市町村の取組の進展等により年々増加しており、平成30年度は対前年度145人増(+46.2%)となり、目標を大きく上回った。
- 若者の県内定着の促進について、高校生の県内就職率は前年より低下しており、県内大学生等の県内就職率は前年より上昇したものの、いずれも目標には届かなかった。県内就職のインセンティブとなる奨学金返還助成制度や県内就職者向け優遇制度については、ウェブサイト、県主催イベントや大学等の訪問など、あらゆる機会を捉えて周知に努めた。

基本目標 3 少子化対策

(1)数値目標及びその達成状況

数 値 目 標	現状値(H26)	目標値(H30)	実績(H30)	達成率(%)
婚姻数 平成31年に 4,020件	3,842	4,020	3,052	75.9
合計特殊出生率 平成31年に 1.50	1.34	1.47	1.33	90.5

(2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
8	5	0

(3)推進状況

- 婚姻数は、全国的な傾向である未婚化や若年層の県外流出の影響等で、減少傾向で推移している。合計特殊出生率は、前年に比べ0.02ポイント低下した。
- 脱少子化モデル企業数や次世代法に基づく一般事業主行動計画策定件数等が増加しており、結婚・出産・子育てに関する意識の醸成や、仕事と子育てを両立できる環境づくりが順調に進んでいる。
- あきた結婚支援センターにおける成婚報告者数については、「サテライトセンター」や「出張センター」の実施などマッチング機能の強化を図ったものの、出会いイベントによる成婚報告者数の減少が影響し、目標にはわずかに届かなかった。
- 不妊治療への相談対応や県単独上乗せ助成の実施のほか、認定こども園を目指す幼稚園・保育所等に対する支援による保育の受け皿の充実など、安心して出産・子育てできる環境づくりが進んでいる。
- 子育て家庭の経済的負担の軽減については、平成28年度から保育料助成や子どもの医療費助成の拡大のほか、多子世帯向け奨学金制度の創設など、支援の充実に取り組んできており、平成30年度からは、保育料助成の更なる拡充を図るなど、子育て世帯のニーズに沿った支援を進めている。

基本目標 4 新たな地域社会の形成

(1)数値目標及びその達成状況

数 値 目 標	現状値(H26)	目標値(H30)	実績(H30)	達成率(%)
「住んでいる地域が住みやすい」と思っている人の割合 平成31年度に 80%	—	75.0	65.5	87.3
社会活動・地域活動に参加した人の割合 平成31年度に 68.0%	46.4	64.0	62.1	97.0

(2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
11	10	0

(3)推進状況

- 「住んでいる地域が住みやすい」と思っている人の割合は前年より増加、「社会活動・地域活動に参加した人の割合」は前年より15ポイント以上増加したが、いずれも、目標には届かなかった。
- 地域コミュニティの再構築については、生活サービス機能・地域活動の拠点となる「お互いさまスーパー」の新規設置に向けた調整や、複数の集落からなる新たな「コミュニティ生活圏」の形成に向けた取組を実施するなど、地域コミュニティの維持・活性化に向けた取組が進んでいる。
- 秋田県商工会連合会と連携して設置した「あきた女性活躍・両立支援センター」において、女性活躍や仕事と子育ての両立支援に取り組む企業をワンストップで支援したこと等により、女性の管理職登用率等を盛り込んだ行動計画を策定した事業所数や、男女イキイキ職場宣言事業所数が増加しており、女性が活躍できる環境づくりが進んでいる。
- 安全・安心な暮らしを守る環境づくりについては、雪対策に取り組む共助組織数が、ほぼ計画どおり増加しているほか、アドバイザーの交通安全指導により、高齢者の交通事故死傷者数が減少した。インフラのマネジメント強化については、老朽化対策・生活排水処理の広域共同化に係る取組が進み、いずれも目標を達成した。